

2学期スタート 「笑顔いっぱいの85日間に」

夏休みが終了し2学期が始まりました。登校初日から雨降りの悪天候スタートとなってしまいましたが、子どもたちは大きな荷物を抱え、雨に濡れながらも、がんばって登校してきてことができました。2学期は夏に始まり冬に終わる一番長い学期です。季節に応じた活動が計画されていますので、楽しく、目標を持って取り組んでいってほしいです。85日間の学校生活を毎日明るく元気に、そして笑顔いっぱいでも過ごしていきましょう。

2学期始業式

《児童の発表》

5年生の各クラスの代表者が2学期のめあてを発表しました。松組の渡辺満利加さんは「自分から手を挙げて発言する」「そのために勉強をたくさんする」、竹組の越優子さんは「はきはきとした大きい声で発言をする」「マラソンをがんばる」、梅組の北里琉璃さんは「たくさん本を読む」「算数の勉強をがんばる」というめあてを発表してくれました。三人とも1学期の反省に基づいた目標を立て、とても堂々と発表することができました。



三人とも1学期の反省に基づいた目標を立て、とても堂々と発表することができました。

《校長講話》 ～正直に生きる～

「1学期終業式に『あなたはどんな人になりたいですか』と問いました。みなさんは夏休みに考えてみましたか」という言葉から始まり、宮澤賢治作の「虔十（けんじゅう）公園林」というお話を読み聞かせてくださいました。「いつも人からばかにされていた虔十が、一生に一度だけの頼み事をして、家の後ろにある野原に七百本の杉の苗を植えたところ、いつしか杉の林となり、子どもたちの楽しい遊び場となった。虔十も喜んで笑っていた。虔十が病気で死んだ後も毎日毎日子どもたちは林に集まり、そして何十年たってもその林は変わらず、たくさんの子どもの遊び場のまま大切にされていた。・・・」虔十の「虔」という字は「つつしみ深い」という意味があります。誠実でどこまでも謙虚であるということです。「正直に生きる」とは、自分勝手に自分のわがままを通すことではありません。「つつしみ深く」「正直に生きる」ということは、とても難しいことです。でも、私は虔十のように「正直に生きたい」と思っています。みなさん、上手に生きることは誰にでもできます。要領よく上手に生きなくていい。そう思っています。



でも、私は虔十のように「正直に生きたい」と思っています。みなさん、上手に生きることは誰にでもできます。要領よく上手に生きなくていい。そう思っています。

保護者の皆様へのお知らせとお願い

〈集団登校・自主自律登校期間変更について〉

年間計画では2学期始めの集団登校は8/22（木）～30（金）でしたが、「学期始めに集団登校で正しく安全な歩行の仕方を確認する」「引き渡し訓練の際、保護者に通学路の歩き方を直接確認、ご指導いただたく」ということをしっかり行い、自分の安全を自分で守ろうという意識を高めた上で自主自律登校に切り替えたいと思います。そこで集団登校と自主自律登校の期間を以下のように変更します。

集団登校 8/22（木）～9/21（土） 自主自律登校 9/25（水）～11/29（金）

※12/2（月）から3月末までは年間計画通り集団登校となります。

- 集団登校期間中は、登校班で歩いて登校してください。
- 欠席や遅刻をする場合は、必ず登校班長さんに連絡をしてください。
- 児童昇降口の開錠は7：55です。7：45前に登校することがないようにしてください。

〈運動着について〉

これまで屋代小学校では、体育の時間は「指定運動着を着用」としていました。しかし指定運動着は高額にもかかわらず、着替え用に2着購入したり、子どもの成長に合わせて買い換えなければならなかったりという点で、保護者の金銭的な負担は大きいと思われます。そこで負担軽減の対策として、以下のような変更を考えました。

- 半袖の運動着は、白い無地のTシャツでも良いこととします。
- 連続して体育授業や全校体育があり、洗濯等で運動着の用意が間に合わない場合は、指定の運動着以外の運動着でも良いこととします。ただし、運動会等の行事は指定運動着の着用となります。

※あくまで負担軽減のための対策ですので、常識の範囲内での対応をお願いします。

〈登下校の車での送迎について〉

学校の登下校は「徒歩」となっています。車での送迎ができるのは、**体調不良やケガ等の理由がある場合**だけですので、再度確認をお願いします。また、車で送迎をされる場合は、以下の点に留意していただくようお願いいたします。

- 児童の登下校時間帯は昇降口付近に車を乗り入れないでください。昇降口の周りには子どもたちがたくさんいますので、車が近づくと大変危険です。職員駐車場の真ん中の空いているスペースを利用してください。
- 学校の周りの道路は道幅が大変狭くなっています。歩いている子どもたちに接触しないよう、十分注意をして通行してください。